

ブラジル
アマパ・イニシアティブ
現地からのお便り

2017年4月
コンサベーション・インターナショナル

私達はブラジルで、「“空気をはぐくむ森”プロジェクト」を通じて、アマパ国有林とアマパ州有林という2つの保護地域の保全に取り組んでいます。自然を守ることで、人々の幸せに欠かかせない自然の恵みが提供されて、保護地域の中や外に住む人々の生活が改善されるよう務めています。2017年1~3月の四半期の活動をご報告しましょう。

地域の広報ネットワークの支援と保護地域の管理

アマパ国有林での広報キャンペーン

1月20日、アマパ国有林とアマパ州有林にある、アラグアリ川の上流とファルシノ川の河口に住む人々に、保護地域についての広報キャンペーンを行いました。アマパ州立大学が開発したアマパ国有林での調査活動とカメのモニタリングについて話し合うコミュニティの人々のミーティングの中で開催され、コミュニティから27人が参加しました。



図1：アラグアリ川の上流とファルシノ川の河口についての
コミュニティのミーティングの参加者たち（写真：Bom Sucesso Association/ Elma Gemaque）

このミーティングでは、保護地域に関する国の制度、保護地域の管理への社会の関わり、アマパ国有林の管理計画の中で予想される管理プログラムなどについて話し合いました。ミーティングは、ビデオ、小冊子、アマパ国有林管理計画のサマリーなどを使って行われました。このような活動は、アマパ国有林とアマパ州有林を参加型で管理していくのに役立ちます。なぜなら、参加者はすべてこれらの保護地域に住み、そこで取れる天然資源を使って生活しているからです。参加者は地域の協議会のメンバーでもあります。

多様な目的を満たす森林の管理とアグロエコロジープログラムの支援

経済活動は、地域の社会・経済的な開発にとって重要です。持続可能性が重んじられれば、経済活動によって戦略的に生態系のバランスが維持され、人々の幸せを生み出すことができます。

「コミュニティによるエコツーリズム」の研修

2月から3月にかけてアマパ州職業教育センター（CEPA）と一緒に、アマパ国有林とアマパ州有林で、3つのモジュールからなる「コミュニティによるエコツーリズム」の研修を行いました。4月と5月に行う残り2回の研修をもって、計5つのモジュールからなる研修が終了します。



図2：アマパ国有林とアマパ州有林で行われた「コミュニティによるエコツーリズム」研修の参加者たち（写真：Bom Sucesso Association / Arlete Pantoja）

この研修の全般的な目的は、2つの保護地域の管理計画で予定されているように、アマパ国有林とアマパ州有林を公益のために活用していけるようにすることでした。6月には、同じ目的で、「ボートの運転」についての新たなコースを計画しています。アマパ州のブラジル海軍とパートナーシップを組んで進めていきます。

木材の切り出しについての研修（第2フェーズ）

3月27日から31日にかけて、アマパ州森林研究所（IEF）は、セラドナビオ保護地域、アマパ国有林、アマパ州有林において、持続可能な森林管理の生産的な活動を進めている13人のコミュニティの人々に対して、木材の切り出しについての第2回目の研修を行いました。

この研修は、持続可能な森林管理の様々な段階で、コミュニティの人々のエンパワーメントに貢献することを目指しています。4月に第3フェーズの研修を行う予定です。



図3：木材の切り出しの研修の参加者たち（写真：IEF / Inácio Barreto.）

終わりに

このプロジェクトでは、アマパ州でのパイロット的な取り組みを支援をしています。アマパ国有林とアマパ州有林での取り組みを通して、自然と近いところで生活する人々の幸せを高められるように努めています。私たちの狙いは、持続可能なアグロエコロジーを活用した取り組みが選ばれるようにすること、木材及び非木材林産物がよりよく管理されるようになること、コミュニティの社会的な資本を高めること、そしてこれらの課題についてのコミュニケーションを支援していくことです。